

令和7年度社会福祉施設等における感染症・食中毒等の
発生及びまん延等に係る研修会

レジオネラ属菌の発生を防ぐために

令和7年11月20日

松本保健福祉事務所 食品・生活衛生課

1

1

レジオネラ属菌とは

- ・ **生息場所**: 土壌、河川、湖沼など自然界
- ・ **増殖温度**: 20～45℃(36℃前後が最も増殖しやすい)
- ・ **発生しやすい場所**:

循環式浴槽、プール、冷却塔水、加湿器、噴水、貯湯槽
など、水を使用する設備に発生したバイオフィルム
(生物膜、ぬめり)内のアメーバなどの体内で増殖

⇒ レジオネラ属菌を含む小さな水しぶき・エアロゾル
を吸い込むと「**レジオネラ症**」を発症することがあります

2

2

レジオネラ症とは

レジオネラ肺炎

- 主な症状
全身性倦怠感、頭痛、
食欲不振、筋肉痛、高熱、
悪寒、胸痛、呼吸困難、
下痢、意識障害
- 潜伏期間：2～10日
- 特徴：急激に重症化し、
死亡することもある

ポンティアック熱

- 主な症状
発熱、悪寒、筋肉痛
- 潜伏期間：
数時間から2日程度
- 特徴：一般的に軽症で、
数日で治ることが多い

3

3

レジオネラ肺炎にかかりやすい人は

抵抗力の弱い人、免疫力が低下している人、疲労
などで体力が落ちている人などが発病しやすい

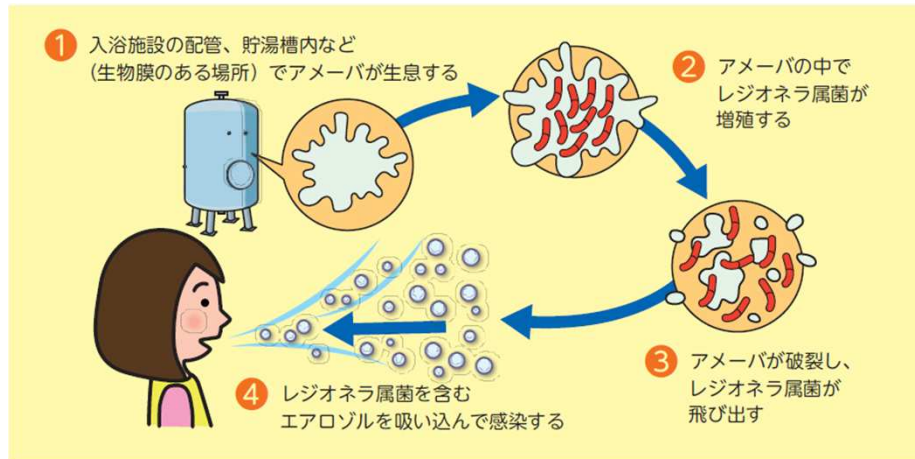
例えば、**乳幼児**や**高齢者**、病気にかかっている人
など...

⇒ **社会福祉施設等はレジオネラ肺炎
のリスクの高い施設です**

4

4

どうやって感染するの？



イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）

5

5

参考資料

■ 厚生労働省のウェブサイト

レジオネラ対策のページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000124204.html>



6

6

参考資料

- レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針
(平成15年7月25日厚生労働省告示第264号)
(平成30年8月3日厚生労働省告示第297号最終改正)
- 循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策
マニュアル(厚生労働省、令和元年12月17日改正)
- 入浴施設の衛生管理の手引き
(厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理
対策総合研究事業、令和4年5月13日)
- 「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」
パンフレット (厚生労働省、2019年12月)



7

レジオネラ症発生防止対策3原則

- 1 増殖させない
- 2 発生させない
- 3 吸い込ませない

8

8

ポイント その1

浴槽の**種類**と**構造**を把握しましょう！

一般浴槽？ 機械浴槽？

循環型？ 入替型？

ろ過器はありますか？ 補助水槽はありますか？

完全換水清掃のタイミングは？

9

9

ポイント その2 ～増やさない～

浴槽の水は、毎日、完全に換水して
清掃・消毒しましょう



イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）

10

10

ポイント その3 ～増やさない～

浴槽水中の遊離残留塩素濃度を測定し
通常 0.4mg/L に保ちましょう
(最大 1 mg/L)



遊離残留塩素
濃度測定器
(DPD法)

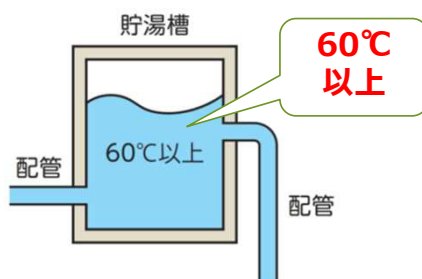
イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）一部改変

11

11

ポイント その4 ～増やさない～

貯湯槽内の温度は 60℃以上、最大使用
時でも 55℃以上に保ちましょう



イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）一部改変

12

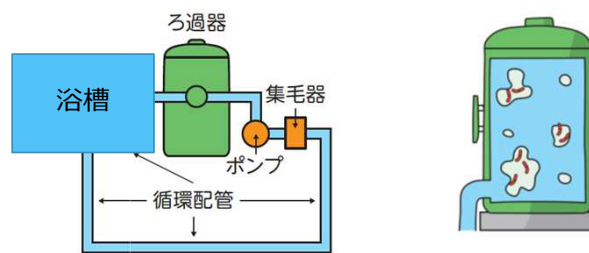
12

ポイント その5 ～発生させない～

集毛器は、毎日清掃しましょう

ろ過器は、週1回以上逆洗浄を行いましょう

循環配管は週1回以上高濃度塩素消毒（5～10mg/L、数時間循環）



イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）一部改変

13

13

ポイント その6 ～吸い込ませない～

毎日浴槽の水を換えない場合は、気泡発生装置等は使用しない



イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）一部改変

14

14

ポイント その7 ～吸い込ませない～

シャワーヘッドは、定期的に分解・
洗浄・消毒をしましょう



イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）

15

15

レジオネラ属菌の自主検査

浴槽水のレジオネラ属菌の水質検査は
年1回以上実施し、確認してください



イラスト引用：厚生労働省「入浴施設におけるレジオネラ症防止対策」（2019年12月）

16

16

加湿器の衛生管理 ～吸い込ませない～

新生児室・高齢者施設等において、加湿器を発生源とするレジオネラ症の感染事例があります

加湿器

参考：厚生労働省「レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針」

家庭用加湿器（卓上用、床置き式のもの）

- ・タンク内の水は、毎日完全に換えるとともに、タンク内を清掃すること

加湿装置（エアコン等の空調設備に組み込まれているもの）

- ・供給する水は水道法第4条に規定する水質基準（※）に適合させるための必要な措置を講ずること ※人の飲用に適する水の水質基準
- ・使用開始時及び使用期間中は、一か月に一回以上、汚れの状況を点検すること
- ・使用開始時及び使用期間中は、一年に一回以上、清掃を実施すること
- ・使用開始時及び使用終了時に、水抜き及び清掃を実施すること

17

17

幼稚園・保育園のプールについて

プールの水や周囲の湿気は、呼吸器感染症の原因となる細菌やウイルスが繁殖しやすい環境です

■ 常に汚れが入り込む

利用者によるもの（体の汗、つば、毛髪、ほこり等）
環境によるもの（プールの周りの土ぼこり等）

■ 抵抗力が弱い乳幼児が利用する

■ 容量が少なく汚れの影響を受けやすい

プール水の衛生管理が重要です

18

18

(参考) 遊泳用プールの水質基準

容量が50立方メートル以上の遊泳用プールには、衛生基準（水質基準、施設基準等）があります

長野県遊泳用プール指導要綱

	検査項目	水質基準	検査サイクル
1	遊離残留塩素濃度	0.4mg/L以上、1.0mg/L以下	毎日3回以上 (午前1回以上、午後2回以上)
	(二酸化塩素濃度) (亜塩素酸濃度)	0.1mg/L以上、0.4mg/L以下 1.2mg/L以下	同上
2	pH(水素イオン濃度)	5.8～8.6	月1回以上
3	大腸菌	不検出	月1回以上
4	一般細菌	200CFU/mL以下	月1回以上
5	過マンガン酸カリウム 消費量	12mg/L以下	月1回以上
6	濁度	プール水2度以下、ろ過装置出口0.5 度以下(0.1以下が望ましい)	年1回以上
7	総トリハロメタン	暫定目標値0.2mg/L以下が望ましい	年1回以上
8	レジオネラ属菌	不検出(気泡浴槽、採暖槽)	年1回以上

19

19

プールの衛生管理について

- プール本体等設備の破損がないか定期的に確認しましょう
- プールやシャワー、遊具等は、常に清潔を保ちましょう
- 簡易プールは、利用の都度、水を入れ換えましょう
- 目・鼻・耳・皮膚の状態を確認し症状がある場合や、発熱・下痢等体調不良の場合は、利用しないようにしましょう
- プールに入る前やトレイの後は、手洗い及びシャワーで十分に体を洗いましょう
- タオル、くし等の共用は避けましょう（置き場所にも注意）

楽しいプール遊びができるよう
衛生及び安全管理をお願いします

20

20

レジオネラ症発生防止のため、
引き続き適正な管理をお願いします



21